

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 85

事務事業名	地区別ミーティング開催事業
-------	---------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	市民環境部		
課名	地域げんき課		
課長名	松本 裕幸	内線	183
担当者名	松崎 拓矢	内線	185

基本目標	060102	持続可能な行財政運営と市民協働の推進
政策		効率的で開かれた行政運営の推進
施策		開かれた市政の推進と個人情報の保護
関連施策		

会計	一般会計	
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	6	企画費
事業コード	100000	地区別ミーティング開催事業

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	市内の住民		
意図 対象をどのような状態にしたいか	市民の行政に対するニーズを把握し、市政に反映する。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	市民と市長、副市長、関係部長等による意見交換会を開催し、市からの情報提供を行うとともに、各地区の現状と課題等を把握し、市政に反映させる。 ・開催時期 7月上旬～7月中旬 ・場所 出張所、コミュニティセンター等市内8地区(各地区1回、計8回) ・内容 市から事業説明・報告・お知らせを行った後に、地域住民と自由に意見交換を行う。		
事業期間	年度 ~ 平成 年度	実施方法	
根拠法令、要綱等			
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考	
活動指標	① 参加者数(8地区合計人数)	計画値	600	600	600	600		
		実績値	383	419	469			
	100人×3地区(大村、西大村、竹松) 60人×5地区(その他の地区)	達成度	%	63.8%	69.8%	78.2%		
		② 情報提供項目数	計画値	6	6	6		6
成果指標	① 市政に対する意見等の実績	実績値	142	152	149			
		達成度	%	88.8%	95.0%	93.1%		
	20×8地区	計画値	100	100	100	100		
		② 行政への反映率	実績値	93.9	92.1	91.9		
	達成度	%	93.9%	92.1%	91.9%			
	② 対応済みの意見等/意見等の総数							

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	14	9	11	15	42	23	23	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	14	9	11	15	42	23	23	
② 人件費(千円)	3,581	2,061	2,243	2,378	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.43	0.25	0.28	0.30	市民への情報提供と市民の意見や要望を聴く。	市民への情報提供と市民の意見や要望を聴く。	市民への情報提供と市民の意見や要望を聴く。	
時間外勤務(時間)	82	86	134	98				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	3,595	2,070	2,254	2,393				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	多くの市民が参加できるように、開催時間(昼間か夜間か)については地元の声を聞いた上で決定し、全8地区を夜間に開催した。さらに出張所から周知を行ったほか新たに広報宣伝カーでの地域への呼びかけを徹底した。 また、開催後は市の広報へ開催時の様子や主なご意見を掲載するとともに、市ホームページへは各地区ごとの市民の意見等とそれに対する市の対応等を掲載する等、広域的な情報の公開に努めた。
事業が抱える問題・課題等	参加者層に偏りがあるため、参加者が少ない女性層や若年層の参加者数を増やす工夫が必要である。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	市民のよりよい生活のためには、直接地域住民の声を聴き市政に反映していくことが必要不可欠である。						
妥当性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	市民に対し当該年度以降の市政を説明し、市民の意見を市政に反映するものであり、市が主催すべきものである。						
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	毎年、地域住民からの意見・要望等を市政に反映させるため、各地区からの意見について各課へ報告し、各課はそれに対し生活環境の改善整備等を行っている。 市政への反映率については、1つの質問・意見等に要する時間はそれぞれ異なり、時間を要する項目が多いことから実績は目標値に達していない。						
有効性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	市の情報を積極的に公開し、また地域の現状・課題及び地域住民の意見・要望等を把握することで、様々な施策への反映が見込まれる。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	市が主体的に実施する中で、一部では地域住民も会場設営や撤去作業等を共同で行うなどしており、削減の余地はない。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	拡充	
--------	----	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	より多く幅広い意見や提言を取り入れるため、平成29年度から大村地区と竹松地区の会場を2つに分け、合計10回行うようにする。 また女性や若者等、参加者が少ない市民層の参加者数を増やすため、女性や若者が足を運ぶような施設での広報など周知の方法を検討する。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	会場を増やすことにより、参加者数の少ない市民層の参加が見込め、より多く、幅広い意見や提言を市政に反映させることができる。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等			内容		

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。